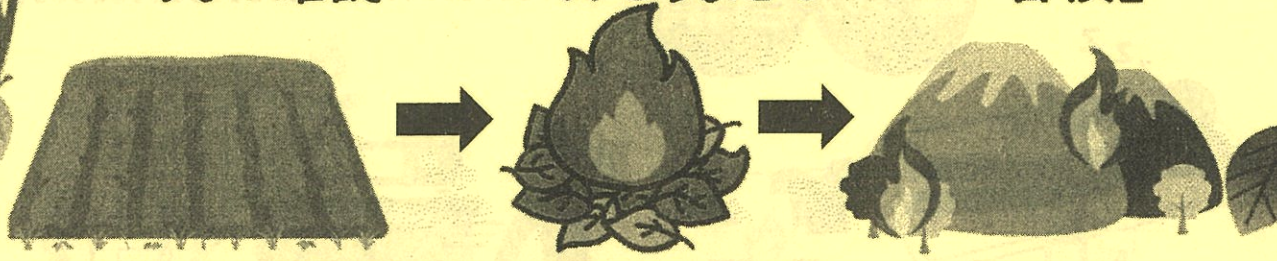
秋の火災予防運動

（令和8年11月9日から15日まで）

『火の確認　いい日を支える　いい習慣』



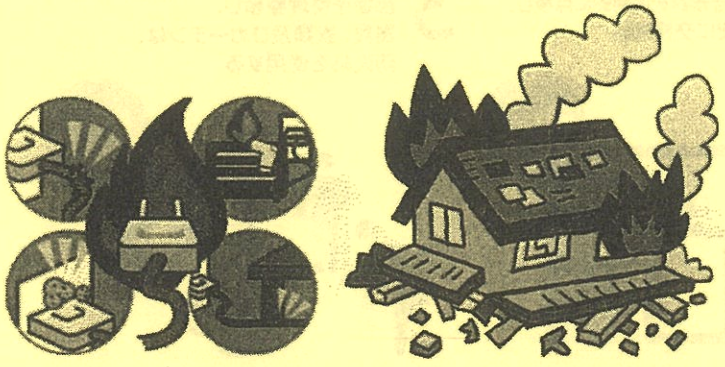
○野焼きなど、屋外での廃棄物（枝・草等を含む）の焼却は**原則禁止**されています。

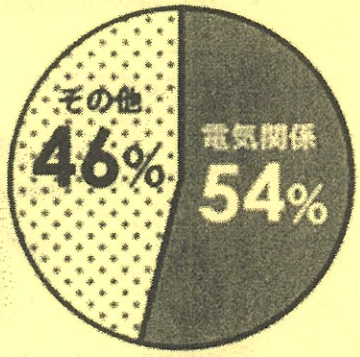
○焼却禁止の例外となる場合も

・必ず消火の準備をする！

・強風時は行わない！

地震による火災の過半数は「電気」が原因です





東日本大震災における火災の発生原因

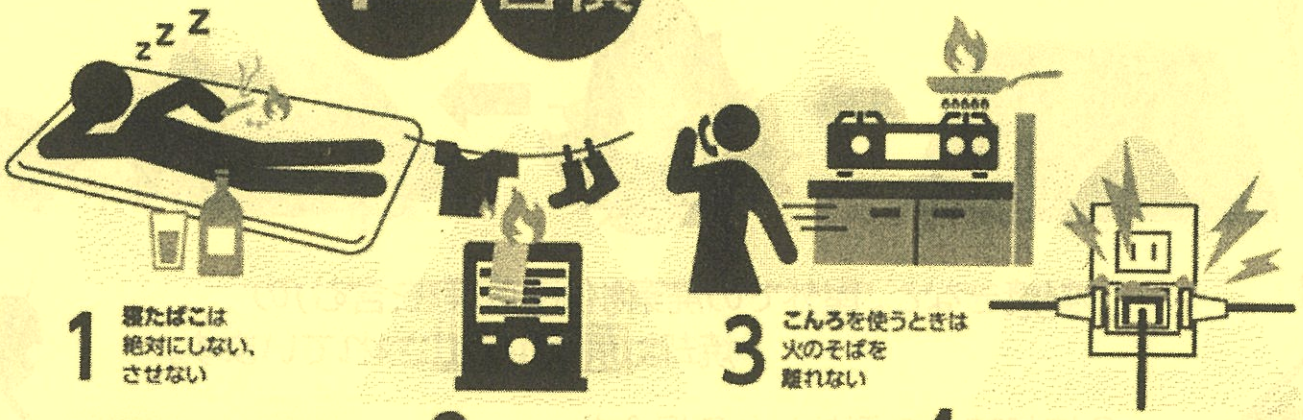
地震を感知すると自動で電気を止める

「感震ブレーカー」の設置が効果的です。

感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

住宅防火 いのちを守る10のポイント

4つの習慣



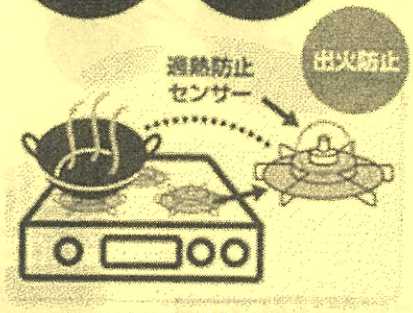
1 寝たばこは
絶対にしない、
させない

2 ストーブの周りに
燃えやすいものを置かない

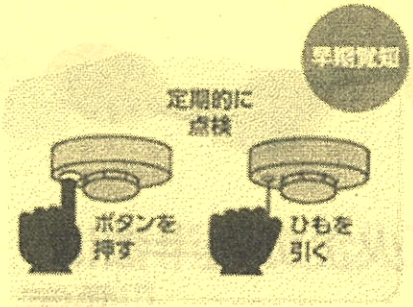
3 こんろを使うときは
火のそばを
離れない

4 コンセントはほこりを清掃し、
不必要なプラグは抜く

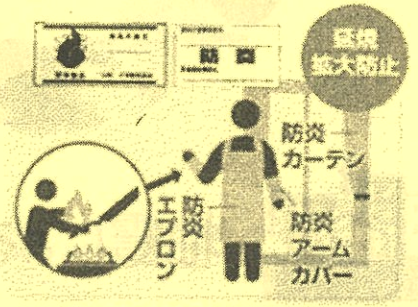
6つの対策



1 火災の発生を防ぐために、
ストーブやこんろ等は
安全装置の付いた機器を使用する



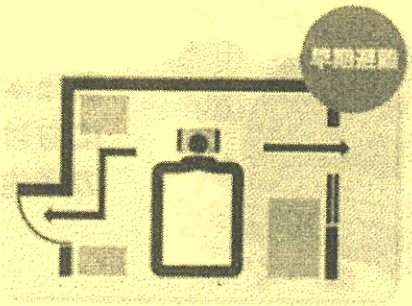
2 火災の早期発見のために、
住宅用火災警報器を定期的に点検し、
10年を目安に交換する



3 火災の拡大を防ぐために、
部屋を整理整頓し、
寝具、衣類及びカーテンは、
防炎品を使用する



4 火災を小さいうちに消すために、
消火器等を設置し、
使い方を確認しておく



5 お年寄りや身体の不自由な人は、
避難経路と避難方法を常に確保し、
備えておく



6 防火防災訓練への参加、
戸別訪問などにより、
地域ぐるみの防火対策を行う

FDMA 住民とともに
消防庁
Fire and Disaster Management Agency
https://www.fdma.go.jp/

お問合せ先
本郷消防署山辺出張所
電話:35−8185